「くさかみ」

6月 June

～高丘中学校通信～　　令和5(2023)年 6月1日　第３号

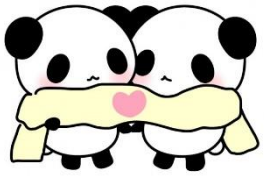
人の心があたたかくなる言葉を心がけてください

職員玄関前のロータリーや中庭のつつじの花が美しく咲き、気持ちを和ませてくれます。

ところで、今、私が読んでいる本（「感動だけが人を動かす」著者：永松茂久氏）に「言葉は心をつなぐツールであるとともに、自分の心を楽しい方向や悲しい方向に導く舵（かじ）の役割をしている」と書いてありました。なるほどなと感じました。

人はともすれば自分に耳ざわり良い言葉を受け入れがちです。逆に自分にとって受け入れたくないことを言われると嫌な思いをしたり、言いわけをすることがあると思います。皆さんからキョリの遠い人は皆さんに対して厳しいことは言わず、優しいことをたくさん言ってくれるかもしれません。それに対して、お家の方や学校の先生は皆さんに厳しいことをよく言います。当然、耳に心地良いのは「誉（ほ）め言葉」や「優しい言葉」です。「どうして家の人や先生は口うるさいんだろう」とついつい反発したり、素直に聞けなかったりするかもしれません。「何で私だけ」と思ったりすることもあるでしょう。

しかしながら、考えてみると、他の人からの優しい言葉に根拠はあまりなく、お家の方や先生の厳しい言葉に真実があることも多いものです。嫌われるのがわかっていても、伝えなければならない言葉や真剣に皆さんのことを想って言ってくれる言葉の裏に皆さんの成長を願うあたたかい想いがあることに気づくことができれば、自然にその言葉を受け入れることができるはずです。「耳に痛いことを聴く」その素直さや謙虚な心が皆さんを大きく成長させてくれます。逆に皆さんが発する言葉で、自分自身をダメにしたり、相手を傷つけたりすることがあります。身体的なことをからかったり、相手の存在そのものを否定するような言葉は相手に大きなダメージを与えます。それと同時に、言った人の心も蝕（むしば）みます。



口から出た嫌な言葉を最初に聞くのは自分自身の耳です。相手を貶（おとし）めたり、中傷（ちゅうしょう）したり、皮肉（ひにく）ったりすることは決して成長につながりません。言葉にする前に、相手の心も自分の心も痛む言葉かどうか、しっかり考えてから口に出すよう心がけてください。

「人の心があたたかくなる」そういう言葉がけが皆さんを魅力的にしていきます。

最後になりましたが、お子様の様子はいかがですか。気になることがございましたら、いつでも学校までご一報ください。今月も子どもたちが「笑顔」で「生き生き」とした学校生活が送れるよう努力してまいります。ご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

6月の行事予定

１日（木）実力考査（３年）
２日（金）進路説明会（3年）
５日（月）～/９（金）オープンスクール
20日（火）～22日（木）期末考査
22日（木）専門部会
26日（月）～29日（木）町別懇談会
（詳細は追ってお知らせいたします。）
29日（木）部活動壮行会

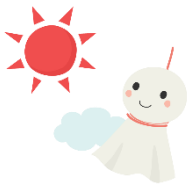
今月の登校日で給食のない日
２年生：１日（木）２日（金）
全校生：２０日（火）21日（水）
３０日（金）

【7月の主な予定】
・11日（火）専門部会
・14日（金）大掃除
・18日（火）～20日（木）保護者会
・21日（金）終業式

いつから？

こないだ誕生日だった。LINE で大学時代の友達からお祝いのメッセージが届き、休みの日だったので、即返信した。何度かメッセージのやり取りをしていたら、電話がかかってきた。

半世紀（50年）過ぎた記念にみんなで集まらないか？とのお誘いだった。ゴルフ・旅行・キャンプ何が良いか聞かれた。「旅行かキャンプがええなー。でもお前雨男やから、雨降ったら嫌やなぁ」と答えた。大学時代、彼とのイベントはホントに雨が多く、雨の日には『俺は雨男やからなぁ…』といつも言っていた。私の返答を聞いて彼は、『もう俺は雨男ちゃうねん』と答えた。「いつから？」と聞くと、『前からじゃ！　今はなぁ、たとえ雨が降っていても、俺は晴れ男でありたいと思うし、俺は晴れ男だと断言できる！』と答えた。



このやり取りの後も、いろいろ話をして電話を切った。お祝いのメッセージをくれたこと、今でもこうやって誘ってくれる彼に感謝した。

そういえば、先月も「ありがとう」という言葉の美しさについて考えた。感謝の想いを「重い・深い」と、いつから感じ始めたのだろうか。自分自身を振り返ってみると、勝手に生きていた時代があった。“感謝の想い”はあっても、その半分、「そこをはみ出したい、そこに縛られたくない」そんな気持ちに駆られている日々があった。今思えば、その時の自分があったからこその、今の自分だとも思う。

いつから？・・・いつから、想いの角度が変わったのだろう・・と、自分に訊ねてみても、まったく、わからない。

いつから・・・彼は晴れ男になったのか？　　彼が言う通り、ずっと前から晴れ男だったのかもしれない。イベント時の雨という悪い部分を許容し、その責任を請け負ってくれていたのかもしれない・・・

時代は変わる。多くを学び、「考え方」も変わっていく。むしろ、変わる方が健全だ。しかし、私たちの心や魂は、それがピュアであればあるほど変わらないものだと思った。雨男から晴れ男に変わった？？友人は、昔も今も変わらず、私の心を晴れやかにしてくれる。

太陽をずっと探していたあの頃の自分・・・雨男が太陽の役を担ってくれていた・・・

今度会ったら、少し照れるが、感謝の想いを伝えようと思う。